

蓄電池・VPP事業コンサルティング

再生可能エネルギーを含めた分散型エネルギー資源（DER:Distributed Energy Resources）の価格低減により、これらDERを活用したエネルギーシステムの在り方が世界的にも注目されています。我が国においては、電力・ガスシステム改革の中で、各種の新たな電力取引市場の開設が予定され、国の審議会等にて具体的な制度設計が検討されているところです。こういった外部環境を受け、VPP(Virtual Power Plant)等、蓄電池をはじめとするDERを活用した事業に対する期待が高まっております。

MRIは、蓄電池に関する各種分析実績に加え、エネルギーリソースアグリゲーションビジネスの拡大に向けた関係省庁の委託調査も実施する等、豊富な知見・ノウハウを有しており、蓄電池・VPP事業拡大に向けた諸課題に対し実効性の高いご支援をいたします。

蓄電池・VPP事業検討上の課題

MRIの貢献

1

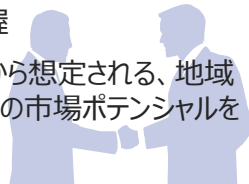
いつ、どの程度の規模で、市場が顕在化するか不明

- 制度依存のビジネスでもあり、制度把握が重要だが、最新動向の把握が手間
- 公表情報のみでは、国をはじめとした関係者の本音を把握することが困難



事業機会・市場規模の把握

- 制度設計の最新状況を踏まえた事業機会の正確な把握
- 現状の市場動向から想定される、地域別×セグメント別での市場ポテンシャルを推計可能



2

蓄電池の価格低減の見通しが不明

- DER活用のKey Deviceである蓄電池の価格見通しが、事業検討には不可欠
- 現状は他代替技術に比べて高価



蓄電池コスト分析

- 原材料の価格動向等から推計される将来トレンドや、需要家向けビジネスから考えられる価格水準の見通し等について、国内外含めた最新情報から推計可能



3

客観的な事業計画立案が困難

- 定量的な事業計画が困難
- 蓄電池・VPP事業単体での事業評価に加え、既存事業とのシナジー検討も必要



事業戦略コンサルティング

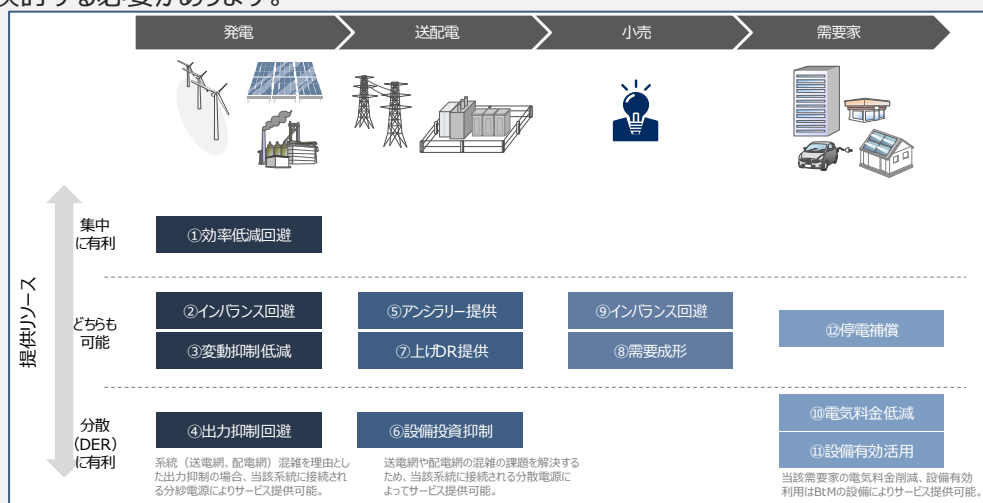
- 市場セグメント別のマルチユースの組合せや政策動向も踏まえ、定量的な事業性評価可能



MRIは、最新情報をもとに、蓄電池・VPP事業に対する客観的な見立てをご提供可能

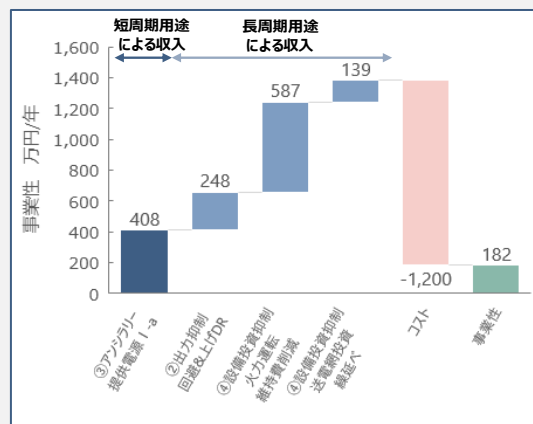
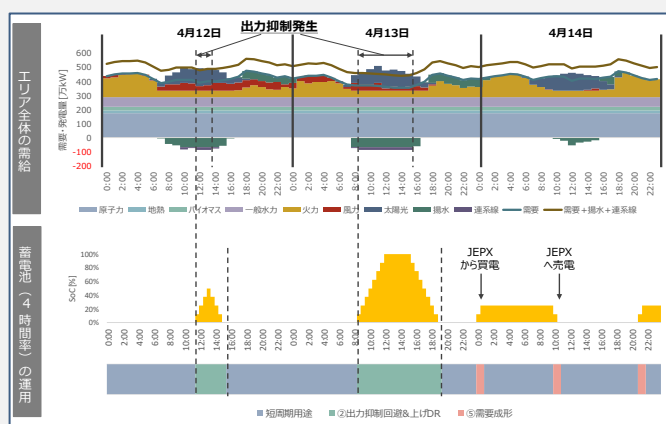
事業機会の把握

- 蓄電池を活用した事業検討においては、提供リソースの規模や設置場所に応じたサービス提供形態を網羅的に検討する必要があります。



事業性評価

- 事業性評価においては、将来の電力需給の姿の定量的シミュレーションを基に、蓄電池のマルチユースを踏まえた最適運用パターンを導き出し、提供サービスごとの収益を積み上げた評価が可能です。



- ERAB検討会事務局支援業務（資源エネルギー庁）
- 定置用蓄電システム普及拡大検討会事務局支援業務（資源エネルギー庁）
- 分散型エネルギー資源（DER）活用プラットフォーム基盤技術に係る検討（NEDO）
- 諸外国におけるバーチャルパワープラントの実態調査（経済産業省）
- 蓄電池活用ビジネスの事業戦略立案、事業性評価（民間企業） その他多数

お問い合わせ先

株式会社 三菱総合研究所

MRI 三菱総合研究所

営業本部 TEL : 03-6858-3493 Email : service@mri.co.jp

（担当 社会イノベーション部門 エネルギー・サステナビリティ事業本部 杉山、神戸、長谷川）